

緊急(事故・急病・大地震)時 対応マニュアル 学生携帯用



京都ノートルダム女子大学

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1
電話 075-781-1173(代表)

緊急時パーソナルメモ

※記入は油性のペンを使用してください。

氏名	生年月日
学科	学籍番号
電話	
住所	
持病	
アレルギー	
常用薬	
血液型	Rh()
自宅近くの避難場所	
家族との待ち合わせ場所(家族と共有)	
緊急時連絡先	
氏名	(間柄)
☎	
氏名	(間柄)
☎	

緊急時の連絡先

キャンパス内で

授業中・課外活動・けが人や急病人が
発生した場合

- 平日(月～金 8:45～18:30)
夏期・冬期・春期休暇
(月～金 8:45～17:30)
連絡・報告⇒学生課 ☎075-706-3740
☎内線 2172・2173

- 平日夜間・土曜日・休日
応急手当・搬送・連絡⇒
119番または医療機関
連絡⇒守衛所 ☎075-781-1173
☎内線9
PHS.080-1503-6895

※翌日(休日明け)の朝には、学生課へ報告してください。

救急車の要請方法

キャンパス内では原則として教職員
(学生課または守衛所)に連絡をすること。

- ①局番無しの119番に電話する。
- ②「救急です」とはっきり言う。
- ③状況・状態を伝える。
例:「(いつ)クラブ活動中に(誰が)倒れて意識不明です」
- ④住所と大学名を言う。
「京都市左京区下鴨南野々神町一番地
京都ノートルダム女子大学です」
- ⑤あなたの姓名を言う。
「〇〇〇〇です」
- ⑥連絡先を伝える。
(平日) 大学代表 075-781-1173
(平日夜間・土曜日・休日)
080-1503-6895
- ⑦守衛所に連絡し、
「救急車が大学に来るので
〇〇まで誘導してください」と依頼する。
※応急手当の指導があったら指示に従ってください。

大地震に対する日頃の準備

大地震の発生を想定し、適切な準備
を行うことで被害を軽減することが
可能です。日頃から、次のような備え
をしておきましょう。

- 避難場所の確認(大学及び自宅周辺等)
- 家族との連絡方法及び待ち合わせ場所の確認
- 災害伝言サービスの確認と登録
(メール宛先等の事前登録が必要)
- 帰宅ルート及び所要時間の確認
- 緊急時メモの作成・記入
- 具体的な情報収集手段等の確認
(大学及び通学途中)
- 転倒防止対策や緊急時アイテムの確認
- 大学及び友人等への連絡方法の
確認及びリスト整備

緊急避難アイテム①

日頃から準備・携帯しておく便利な物

- 現金(公衆電話等で使用する小銭)
- 健康保険証
- 常用薬とその処方箋
- タオル・ばんそうこう・包帯
- 手回し充電ラジオ・ライト
- 非常用保温アルミシート
- 雨具(カッパなど)
- ポリエチレン製ごみ袋
- 学生証(免許証等も)
- アドレス帳(家族、友人の連絡先を記入)
- 携帯端末充電用USBケーブルや
乾電池式携帯端末充電器
- 油性マジックペン
- マスク
- チョコレート・あめ等
- 水またはお茶のペットボトル
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- コンタクトレンズ・メガネ用品
- 生理用品

緊急避難アイテム②

その他非常時に必要なアイテム

- 貯金通帳
- マッチ・ライター
- 予備電池
- 懐中電灯
- 缶切り・栓抜き
- 上着・下着・靴下
- 運動靴
- 洗面用具
- ナイフ
- 帽子
- 歯ブラシセット
- 簡易トイレ
- 印鑑
- 卓上コンロ
- 使い捨てカイロ
- ろうそく
- 非常用食料・水
- リュック
- スリッパ
- ひも・ロープ
- 軍手
- ラジオ・イヤホン
- 大判ストール

家族への連絡方法①

NTT災害伝言ダイヤルサービス

地震など大災害発生時に、安否確認などの
電話が爆発的に増加し、つながりにく
い状況になった場合、提供されるサー
ビスです。電話で自分の安否を登録し
たり、他の人の安否を知ることができます。

伝言の録音 伝言の再生

171へ電話をかけます。
カウンスルが流れます。

1(録音)

市外局番+
自宅電話番号

2(再生)

市外局番+
被災地の方の電話番号

- 利用可能な端末
NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話
- 蓄積伝言数
1電話番号あたり1～10伝言
- 録音時間1伝言 30秒以内
- 伝言保存期間 2日間(48時間*自動消去)

家族への連絡方法②

事前の登録が必要です!
(事前にテストをしてください)

携帯各社の災害伝言板サービス

大規模災害時に携帯電話から安否確認
(安否情報の登録)ができる災害用伝
言板サービスです。

あらかじめ指定した家族や知人に対
して、災害用伝言版を登録されたこと
をメールでお知らせする機能が提供さ
れています。また、インターネットから
も安否情報の確認が可能です。

各社のQRコードはこちら	NTTドコモ http://dengon. docomo.ne.jp/top.cgi
	au http://dengon. ezweb.ne.jp/
	ソフトバンク http://dengon. softbank.ne.jp/
	ワイコム http://dengon. willcom-inc.com/

大学への連絡方法

大規模災害が発生した場合、大学は皆さんの
安否の確認を第一に行いますので、必ず学生
課に消息を連絡してください。
(電話は直通075-706-3740です。)
また災害発生時はCampusmate/Portalか
ら大学が送信する「安否確認メール」への回
答をお願いします。(メール本文にアンケート
回答用リンクを記載しています。リンクを
クリックし、指示に従ってください。)
メールが使用できない環境の場合には、
はがき(封書)を郵送してください。

(〒606-0847
京都市左京区下鴨南野々神町1番地
京都ノートルダム女子大学
学生部学生課宛)

- ◆はがき(封書)による報告事項
- ①氏名 ②学籍番号 ③本人・家族の状況
 - ④自宅や避難場所付近の状況
 - ⑤避難している場合は避難先の住所、
連絡先等
 - ⑥その他(困っていることなど)

地震発生直後の行動①

とにかく自分の身を守る!

《大きな揺れを感じたら》

大学にいるとき

■ 危険物から離れる

窓や棚、ガラスなど、割れたり中ものが飛び出しそうなものから離れる。実習中や課外活動中などで周囲に危険なものがある場合は、すみやかにその場から離れる。

■ 落下物から頭と手足を守る

机の下などに身をふせる、バッグなどで頭をおおうなどして、頭と手足を守る。落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込む。

■ 出口を確保する

ドア付近にいる人は、ドアを開け、出口を確保する。(余裕がある場合)

■ 揺れがおさまるのを待つ

安全を確保して、揺れがおさまるのを待つ。

地震発生直後の行動②

通学中・外出時

- 周囲の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする。
- 塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意する。
- むやみに動かず安全を確保する。
- 被害状況を正しく把握する。
- 事前に家族と相談して決めた避難場所へ移動する。
ただし、被災場所やその場の状況によっては安全を最優先し、別の避難場所へ移動する。

揺れがおさまってからの行動①

《揺れがおさまったら》

自分のいる場所は安全か?

YES

その場を動かない

NO

避難場所へ避難

大学にいるとき

■ 冷静に、落ち着く

余震の可能性もあるので、あわてずにしばらく様子を見る。

■ 周囲の状況を確認

周囲のものが倒れたり、落下してくる恐れがない場合は、その場で待つ。危険と判断した場合は、安全な所へ移動する。

揺れがおさまってからの行動②

■ 初期消火

火災が発生している場合は自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら初期消火。消火が困難と判断した場合は、すみやかに火から離れる。

■ 負傷者の救護

負傷者がいる場合は自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら応急手当をし、教職員に連絡する。

【避難する時の注意点】

■ 「おはしも」を守る

「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない」を守り、教職員や非常放送の指示に従って落ち着いて避難する。身の回りのものは身につけるが避難に支障が出る大きな荷物は置いていく。

揺れがおさまってからの行動③

■ 火災が発生している場合

煙を吸わないよう、タオルなどで口を覆い、姿勢を低くして移動する。

■ 階段で移動

エレベーターは使用せず、階段で移動する。

通学中・外出時

- 避難中は警察や消防の指示に従う。
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に。
- 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動する。
- エレベーターを使用せず階段で避難する。
- 火を扱っている場合は、身の安全を確認後、火の始末をする。
- 負傷者の救護や初期消火に協力する。
- 家族の安否確認をする。

落ち着いてからの行動①

判断しましょう。

歩いて帰れる?
自宅又は大学に

YES

自宅か大学へ

NO

避難場所へ

大学にいるとき

安全が確認できたら、「ノートルダム学院小学校グラウンド」に避難・集合

- 受付の教職員から「災害報告カード」を受け取り氏名等記入後ただちに提出。
- 帰宅か学内に留まるかは、大学の災害対策本部が指示する。その指示があるまで勝手な行動は慎む。

落ち着いてからの行動②

帰宅可能な場合

- 帰宅可能な場合は、必ず大学に報告した上で帰宅する。
- 帰宅時は、できる限り同じ方向の2人以上で行動する。
- 帰宅後、速やかに大学に連絡を入れる。

学内にとどまる場合

- 交通機関の停止や帰宅が深夜になるなど、帰宅困難な場合は、学内に滞在する。
- 建物内への移動、宿泊場所などについては教職員の指示に従うこと。
- 大学には災害用品が備蓄してある。
- 家族との安否確認は、伝言ダイヤルサービス、伝言板サービスを利用して自分自身で行うこと。

《お問い合わせ一覧》

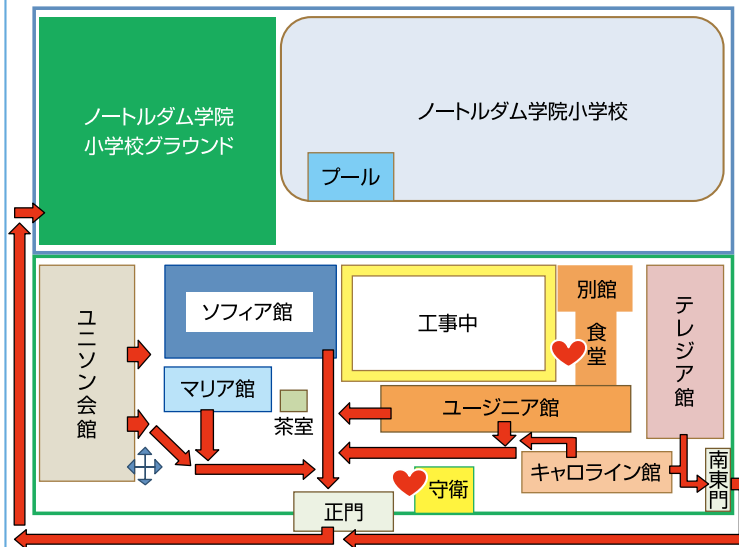
内容	連絡先	電話・(内線番号) メールアドレス
学生関係	学生課	075-706-3740 (2172) student@notredame.ac.jp
教学関係	教務学事課	075-706-3745 (2101) kyomu@notredame.ac.jp
寮関係	学生寮	075-706-3777 (2328) dormitory@notredame.ac.jp
留学生	国際教育センター	075-706-3746 (2231) international@notredame.ac.jp
健康管理	医務室	075-706-3741 (2171) health@notredame.ac.jp
危機管理	総務課	075-706-3700 (2111) general@notredame.ac.jp
災害情報	施設課	075-706-3704 (2130) facility@notredame.ac.jp

【AEDの設置場所と避難経路】

※キャンパス工事期間中のみ適用

← 避難経路

♥ AED設置場所
【守衛所・食堂廊下・松ヶ崎グラウンド】



松ヶ崎グラウンド